

# キリスト者として

# 日本社会の今を診断する

『いのちへのまなざし』 日本カトリック司教団/2017  
 教会の社会問題についての考えに照らして

日 程	テ ー マ	講 師
4月18日	いのちを脅かすもの～『いのちの福音』 「わたしは弟の番人でしょうか」、創世記4,9	ボネット ビセンテ イエズス会社会司牧センター
5月16日	シンポジウム 信徒として日本社会の今を診断する	山岸 素子・柳下 修 黒須 優理菜
6月6日	生と死をめぐる諸問題 『いのちへのまなざし』77～115 頁参照	竹内 修一 上智大学教授
6月20日	貧困と日本社会 若者と女性の現実から考える	飯島 裕子 ノンフィクションライター
7月4日	戦争・紛争と平和 『いのちへのまなざし』154～162 頁参照	小山 英之 上智大学教授
7月18日	人間の権利『地上の平和』『世界人権宣言』 日本の人権に関する状況	ボネット ビセンテ イエズス会社会司牧センター
10月3日	世界経済のなかで日本経済の問題点 格差と貧困 「この経済は人を殺します」	下川 雅嗣 上智大学教授
10月17日	信徒として環境と環境保護を考える 『いのちへのまなざし』124～130 頁参照	吉川 まみ 上智大学准教授
11月7日	原子力発電と核兵器 『いのちへのまなざし』131～137 頁参照	光延 一郎 上智大学教授
11月21日	日本のマスコミを診断する マスコミのあるべき姿とその現実	庭野 めぐみ 日本テレビ社会部
12月5日	日本の政治は今 国際関係や国内課題	中野 晃一 上智大学教授
12月19日	まとめ キリスト者として行動する	ボネット ビセンテ イエズス会社会司牧センター

『いのちへのまなざし』は「すべての人が与えられたいのちを十全に生きることができるよう」と願って、日本カトリック司教団から昨年、増補新版が発行されました。すべてのいのちをいつくしむ神のまなざしが、私たちのまなざしとなりますように！ この連続セミナーを通して、教会の社会問題についての考えに照らしながら、キリスト者の私たちひとり一人が、日本社会の今を一緒に診断してみませんか。

尚、カトリック教会やキリスト教の基礎知識を前提にする場合がありますので承願います。

- ◆ 時 間 18:30～20:00 (第1・3水曜) ◆ 参加費 無料、会場での寄付歓迎 ◆ 申し込み不要
- ◆ 会 場 麹町イグナチオ教会 アルペホール(信徒会館3F)・・・JR・地下鉄「四ツ谷駅」からすぐ、上智大学手前
- ◆ 問合先: ☎03-5215-1844 イエズス会社会司牧センター ◆ 共催: 麹町イグナチオ教会 & イエズス会社会司牧センター